

八尾って実は/

ハチオシ!

やねん!



問 広報課 ☎924-3811 FAX 924-0135

知っているようで、意外と知らない自分のまち。今月号の特集では、八尾の「実は」なネタを8つご紹介します!

聖徳太子が
戦ったといわれる
古戦場があるねん!



大聖勝軍寺の周辺には、守屋を討ち取った矢をおさめた「鏑矢塚」、弓をおさめた「弓代塚」といった史跡も残されています!



1



2



3

①戦の際に聖徳太子が棕木に身を隠した姿を再現した像 ②守屋の首を洗ったとされる守屋池 ③太子と守屋の像を敵味方なく安置した平和塔



大聖勝軍寺のすぐ近くにある、物部守屋のお墓。交通量の多い道路沿いにひっそりとたたずんでいます。玉垣には全国の名だたる神社の名が刻まれています。

太子堂にある「大聖勝軍寺」は1400年前、^{だいしやうしやうぐんじ} 仏教伝来を巡って崇仏派の蘇我馬子と、^{そがのうまこ} 廃仏派の物部守屋が戦った古戦場と伝えられています。当時16歳だった若き聖徳太子も、蘇我氏側につきこの戦に参加。崇仏派が勝利をおさめたことで、^{もののべのもりや} 仏教の信仰が本格化しました。八尾の古戦場は、日本の仏教の歴史における重要なスポット。もし廃仏派が勝利していたら、歴史は全く違うものになっていたかもしれません。

クイズおQ

国指定史跡「^{ゆげでら}由義寺跡」で塔の基壇(基礎部分)が発見されましたが、その塔は何重の塔と考えられるでしょうか?
ヒントはP4を、答えはP5をチェック!



大聖勝軍寺
太子堂3-3-16

記事内容の詳細は市ホームページでご覧いただけます。



えだまめと若ごぼうが 名産やねん!



旬の時期は市内の直売所やスーパーでも購入できるほか、一年を通じて食べられるお菓子などの加工品もあります!



八尾えだまめと八尾若ごぼうは、ふるさと納税でも人気!

八尾市は近畿でも有数のえだまめ産地。消費地に近く、とれたてをすぐ出荷できるのが特徴です。粒が大きく甘みたっぷりの八尾えだまめは、令和元年のG20大阪サミットの夕食会の食材にも選ばれました。早春に旬を迎える八尾若ごぼうは葉、軸、根まで食べることができ、シャキシャキの食感とほのかな苦みが魅力です。束ねた形が矢に似ていることから、別名「やーごんぼ」とも呼ばれています。



八尾市の特産品
情報はこちら

歯ブラシの 一大産地やねん!

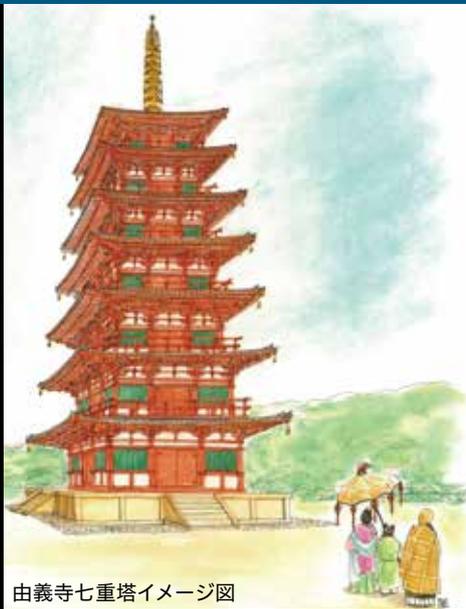
近鉄八尾駅前の噴水広場に、銀色に輝くオブジェがあるのをご存じですか? 実はこのオブジェは、歯ブラシのモニュメント。平成17年に「歯ブラシの生産高日本一」を記念して建てられました。八尾の歯ブラシ生産の歴史は古く、河内木綿の生産が衰退していた明治20年代から農家の副業としてブラシ植毛が始まり、地場産業として発展。現在も日本有数の歯ブラシ生産地として知られ、多くの歯ブラシが全国に出荷されています。

全日本ブラシ工業協同組合によって寄贈された記念碑。歯ブラシ産業のさらなる発展を願って建てられました。

近鉄八尾駅前 噴水広場
光町1丁目



歯ブラシの記念碑があるのは、全国で八尾だけかも!?



由義寺七重塔イメージ図



地盤補強のために転用された基壇化粧石が発見された第6次発掘調査の様子。

幻といわれていた 由義寺が 発見されてん!

しょうとく 称徳天皇と、八尾出身の僧侶・道鏡(どうきやう)が造営に深くかかわった由義寺。長らく幻の寺とされてきましたが、平成29年に巨大な塔の基壇が発見され、その存在が明らかに!翌年には「由義寺跡」として、国指定史跡になりました。それから7年、発掘調査が行われ、その姿が少しずつ明らかになってきています。

八尾に都があったかも!?

過去6回の発掘調査によって、発見された塔の基壇の下層に、ひとまわり小さい基壇があったことがわかりました。まだ塔の基壇しか見つかっていませんが、称徳天皇が三度この地を訪れていることから、寺院の金堂や講堂、さらに由義寺などもあったのではと考えています。「堂ノ後」という小字(こあざ)が残る場所もあり、何らかの建物があったのでは……と思っています。塔は完成しましたが、称徳天皇がなくなり、道鏡が下野に流されてしまっただけで人がいなくなり、おそらく雷に打たれるなどして失われたと思われる。由義宮は平城京(しやうけいけい)の西京(さいけい)になる予定だったので、もし完成していれば、日本の歴史は大きく変わっていたかもしれません。現在は、塔の基壇を中心とした史跡公園化する準備を進めています。発掘された場所から見る生駒の山並みは、今も奈良時代も大きくは変わっていないと思います。高安城(たかやすのき)や、心合寺山古墳(しんごうやまこふみ)も見えていたのでは無いでしょうか。古代の人も、この景色を見ていたかもしれません。歴史の流れを感じられる、史跡公園がそんな場所になればと考えています。

観光・文化財課

藤井 淳弘



すぐ間近で見学できる 古墳があるねん!

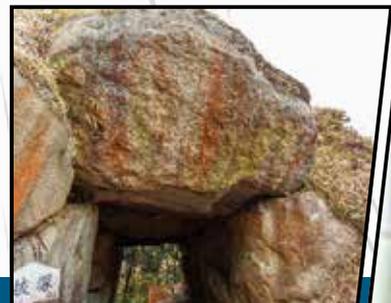
ここがハチオン! 自由に見学できる古墳で、古代ロマンを感じよう!



※高安千塚古墳群の大部分は私有地です。見学の際は、市ホームページをご覧ください。

高安山麓にある「高安千塚古墳群(せんづか)」は、近畿地方でも有数の大型群集墳です。6世紀に造られた約230基もの円墳が連なり、うち110基は国史跡に指定されています。古墳といえば濠に囲まれているイメージがありますが、高安千塚古墳群はすぐ間近で見学でき、中には石室に入れるものも!長い歴史を物語る古墳を訪ねて、しばし古の時代に思いをはせてみては。

らいごうじ 来迎寺にある抜塚はトンネル型



法蔵寺境内にある開山塚古墳



あたごづか 愛宕塚古墳の横穴式石室は大阪府内で最大級の規模

記事内容の詳細は市ホームページをご覧ください。

八尾市には「ベルビュー通り」があるねん!



ベルビュー市には、八尾市通りがあるよ!



アメリカ合衆国ワシントン州にあるベルビュー市は、八尾市の姉妹都市。令和元年11月、50年間続く両市の友好関係のあかしとして、ベルビュー市のメインストリートのひとつに「Yao City Drive(八尾市通り)」という名誉称号がつけられました。本市でも長瀬川の一部区間に「Bellevue Street(ベルビュー通り)」という愛称を設け、合計7か所に銘板を設置しています。



ここがハチオシ!



ベルビュー通り

本町第2公園を起点に北へ約800メートル、東久宝寺3丁目児童遊園まで

ベルビュー通りには、毎年実施している全米青少年美術コンテスト八尾地区選考会の最優秀作品も設置しています。



ここがハチオシ!

十三峠の展望台からは、天気が良ければ明石海峡大橋や六甲山まで見晴らせます。



十三峠
神立

映画やドラマがいっぱい撮影されてるねん!



映画「花子とキメラ」(令和5年8月公開)

ロケ地: 錦城護謨株式会社(跡部北の町)、七福温泉(久宝園)、シルキーホール(本町)、ファミリーロード商店街(本町)、ヤシマたばこ(本町)、長屋(小阪合町)、八尾市役所(本町)、旧北高安小学校(水越)ほか

ロケを誘致する「八尾市フィルムコミッション」が発足して約3年。口コミなどで少しずつ認知度が高まり、映画やドラマはもちろん、CMやバラエティ、ミュージックビデオなど、市内でさまざまな撮影が行われています!

主な作品: 映画「市子」、NHK土曜ドラマ「%(パーセント)」、毎日放送「あれみた?」など

ヒルクライムの名所といわれる場所があるねん!

高安山の十三峠は夜景が有名ですが、実はサイクリストの間でも人気のスポット。ロードバイクなどの自転車で山や峠などの坂道を走る「ヒルクライム」の名所として知られています。

自転車歴12年! サイクリストもおすすめ

十三峠は、坂を登りきった後の絶景がなによりのご褒美! 見晴らしがよく、大阪平野が一望できます。傾斜はややきついですが距離は約4kmと短いので、チャレンジしやすい峠です。八尾の市街地から20分ほどでスタート地点に着ける近さもポイント。柏原市の葡萄坂など、生駒山系の峠を組み合わせると、いろいろなコースが作れるところも魅力です。教育政策課 川添 浩司



クイズやおQの答え

答えは「七重塔」。一辺約21mという基壇の規模が国内最大級の東大寺に次ぐことから、由義寺の塔も七重塔であった可能性が考えられます。



ここがハチオシ!

「八尾市フィルムコミッション」では、エキストラなどのボランティアも募集中!

